

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	専門学校ミエ・ヘア・アーティストアカデミー
設置者名	学校法人三重中央学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・ 通信 制の 場合	実務経験のある 教員等による 授業科目の 単位数	省令で定める 基準単位数	配置 困難
衛生専門課程	理容科	夜・ 通信	30 単位	7 単位	
	美容科	夜・ 通信	30 単位	7 単位	
		夜・ 通信			
		夜・ 通信			
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

本校事務室で保管。随時閲覧可能。

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第 2 号の 2－① 【(2)-①学外者である複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第 2 号の 2－②を用いること。

学校名	ミエ・ヘア・アーティストアカデミー
設置者名	学校法人三重中央学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

本校事務室で保管。随時閲覧可能。

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	株式会社役員	2024.7.20 ～ 2028.7.19	財務
非常勤	弁護士	2024.7.20 ～ 2028.7.19	法務
(備考)			

様式第 2 号の 3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	ミエ・ヘア・アーティストアカデミー
設置者名	学校法人三重中央学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。	
(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)	
学校授業は法律で定められた時間数に則った授業計画を策定。国家試験合格を目指す。 実習授業は理容師・美容師国家試験に確実に合格できる内容・時間数を確保。その上で卒業後、現場に必要な技術を身につけられるような内容を積極的に取り入れ、即戦力となる人材を育てる授業計画策定を目指している。 授業計画は授業を担当する教員がそれぞれ作成。教務主任が確認後、校長に提出。決裁を得た上で公表する。 授業計画は前年度 3 月までに作成。新年度 4 月に公表する。	
授業計画書の公表方法	本校事務室で保管。随時閲覧可能。
2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。	
(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)	
(1) 前期末、後期末に学科・実技試験を実施。すべての教科科目において 100 点満点換算で 70 点以上を合格とする。 (2) 70 点に満たない場合は再試験を実施。合格するまで実施する。 (3) 欠席は同時間数の補講を実施。 上記 (1) ～ (3) を満たして、履修を認定する。	

3. 成績評価において、G P A等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。	
(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要) (1) 前期末、後期末にそれぞれ実施した試験の全科目合計点の平均点を算出。 ※平均点＝(実技点数＋学科点数)÷教科科目数 (2) 算出した平均点を各学年・各教科で点数順に並び替え。 (3) 6つの区分に分類。成績分布状況を把握。 ① 0～49点 ② 50～59点 ③ 60～69点 ④ 70～79点 ⑤ 80～89点 ⑥ 90～100点 (4) 下位 1/4 に該当する人数を算出及び下位 1/4 に該当する指標の数値が何点であるかを算出。	
客観的な指標の 算出方法の公表方法	本校事務室で保管。随時閲覧可能。
4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。	
(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要) 下記要件を満たしている者に卒業認定をする。 (1) すべての教科科目において、合格点を取得していること (2) 欠課時間数に対する補講をすべて終えていること (3) 授業料その他、全額納入していること 上記を考慮した上、卒業認定会議で最終決定する。	
卒業の認定に関する 方針の公表方法	本校事務室で保管。随時閲覧可能。

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	専門学校ミエ・ヘア・アーティストアカデミー
設置者名	学校法人三重中央学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	学校事務室で保管。随時閲覧可能。
収支計算書又は損益計算書	学校事務室で保管。随時閲覧可能。
財産目録	学校事務室で保管。随時閲覧可能。
事業報告書	学校事務室で保管。随時閲覧可能。
監事による監査報告（書）	学校事務室で保管。随時閲覧可能。

2. 教育活動に係る情報

①-1 学科等の情報

分野		課程名	学科名		専門士		高度専門士	
衛生		衛生専門課程	理容科		○		-	
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 単位数	開設している授業の種類					
			講義	演習	実習	実験	実技	
2 年	昼	88	42		46			
学生総定員数		学生実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
30 人		13 人	0 人	9 人	2 人	11 人		

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 学校授業は法律で定められた時間数に則った授業計画を策定。国家試験合格を目指す。 実習授業は理容師・美容師国家試験に確実に合格できる内容・時間数を確保。その上で卒業後、現場で必要な技術を身につけられるような内容を積極的に取り入れ、即戦力となる人材を育てる授業計画策定を目指している。 授業計画は授業を担当する教員がそれぞれ作成。教務主任が確認後、校長に提出。決裁を得た上で公表する。 授業計画は前年度3月までに作成。新年度4月に公表する。
成績評価の基準・方法
（概要） (1) 前期末、後期末にそれぞれ実施した試験の全科目合計点の平均点を算出。 ※平均点＝（実技点数+学科点数）÷教科科目数 (2) 算出した平均点を各学年・各教科で点数順に並び替え。 (3) 6区分に分類し、成績分布状況を把握。

①0～49点 ②50～59点 ③60～69点 ④70～79点 ⑤80～89点 ⑥90～100点 (4) 下位 1/4 に該当する人数を算出及び下位 1/4 に該当する指標の数値が何点であるかを算出。
卒業・進級の認定基準
(概要) 下記要件を満たしている者に卒業認定をする。 (1) すべての教科科目において、合格点を取得していること (2) 欠課時間数に対する補講をすべて終えていること (3) 授業料その他、全額納入していること
学修支援等
(概要) (1) 1 時限開始前及び放課後、自主練習が行えるように関連教室等を開放。 (2) 授業時間外の技術授業、学生からの各種質問等を受け付ける環境づくり。 (3) 入学前から理容技術レクチャーを実施。入学後、速やかに学校の雰囲気になじませる配慮等。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
10 人 (100%)	0 人 (0%)	10 人 (100%)	0 人 (0%)
(主な就職、業界等) 理容室・理容美容業界等			
(就職指導内容) ・2 年間で 2 度、校内で合同企業説明会を実施。 ・就職担当教員による学生への個別指導。			
(主な学修成果（資格・検定等）) ・理容師国家試験受験資格 ・その他、メイク検定、色彩検定、ネイル検定、着付け資格等			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
24 人	1 人	4.2%
(中途退学の主な理由) 学校生活への不適合、病気療養、進路変更、経済的理由等		
(中退防止・中退者支援のための取組) 個別面談、三者面談（学生・保護者・担任教員）等		

分野		課程名	学科名		専門士		高度専門士	
衛生		衛生専門課程	美容科		○		-	
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 単位数	開設している授業の種類					
			講義	演習	実習	実験	実技	
2 年	昼	88	42		46			
学生総定員数		学生実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
180 人		159 人	0 人	15 人	4 人	19 人		

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）	
（概要） 学校授業は法律で定められた時間数に則った授業計画を策定。国家試験合格を目指す。 実習授業は理容師・美容師国家試験に確実に合格できる内容・時間数を確保。その上で卒業後、現場で必要な技術を身につけられるような内容を積極的に取り入れ、即戦力となる人材を育てる授業計画策定を目指している。 授業計画は授業を担当する教員がそれぞれ作成。教務主任が確認後、校長に提出。決裁を得た上で公表する。 授業計画は前年度3月までに作成。新年度4月に公表する。	
成績評価の基準・方法	
（概要） (1) 前期末、後期末にそれぞれ実施した試験の全科目合計点の平均点を算出。 ※平均点＝（実技点数+学科点数）÷教科科目数 (2) 算出した平均点を各学年・各教科で点数順に並び替え。 (3) 6区分に分類し、成績分布状況を把握。 ①0～49点 ②50～59点 ③60～69点 ④70～79点 ⑤80～89点 ⑥90～100点 (4) 下位1/4に該当する人数を算出及び下位1/4に該当する指標の数値が何点であるかを算出。	
卒業・進級の認定基準	
（概要） 下記要件を満たしている者に卒業認定をする。 (1) すべての教科科目において、合格点を取得していること (2) 欠課時間数に対する補講をすべて終えていること (3) 授業料その他、全額納入していること	
学修支援等	
（概要） (1) 1時限開始前及び放課後、自主練習が行えるように関連教室等を開放。 (2) 授業時間外の技術授業、学生からの各種質問等を受け付ける環境づくり。 (3) 入学前から美容技術レクチャーを実施。入学後、速やかに学校の雰囲気になじませる配慮等。	

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
69 人 (100%)	0 人 (0%)	68 人 (98.6%)	1 人 (1.4%)
（主な就職、業界等） 美容室・美容業界等			
（就職指導内容） ・2年間で2度、校内で合同企業説明会を実施。 ・就職担当教員による学生への個別指導。			
（主な学修成果（資格・検定等） ・美容師国家試験受験資格 ・その他、メイク検定、色彩検定、ネイル検定、着付け資格等			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
138 人	9 人	6.5 %
（中途退学の主な理由） 学校生活への不適合、病気療養、進路変更、経済的理由 等		
（中退防止・中退者支援のための取組） 個別面談、三者面談（学生・保護者・担任教員）等		

②学校単位の情報

a)「学生納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考（任意記載事項）
理容科	150,000 円	400,000 円	円	2025 年度入学者
理容科	200,000 円	440,000 円	円	2026 年度入学者
美容科	150,000 円	400,000 円	円	2025 年度入学者
美容科	200,000 円	440,000 円	円	2026 年度入学者
修学支援（任意記載事項）				

b) 学校評価

自己点検評価結果の公表方法		
(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) 名称：学校自己評価 入手方法：本校事務室で保管。希望があれば、随時閲覧可能。		
学校関係者評価の基本方針（実施方法・体制）		
自己評価に基づき「学校運営」「教育活動」「学生支援」等の評価項目について、意見・提案・改善策等を評価委員に求める。評価委員からの提言を踏まえた改善策は次年度以降、校長を中心に実施する。 (委員定数：5人以内) (委員の選出区分：学校専門分野における業界関係者 / 卒業生 / 保護者・地域住民 / 学校運営に関する専門家など)		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
業界団体	2026. 4. 1～2029. 3. 31	理容師
業界団体	2026. 4. 1～2029. 3. 31	理・美容師
企業等	2026. 4. 1～2029. 3. 31	理美容ディーラー
学校関係者評価結果の公表方法		
(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) 名称：学校関係者評価結果 入手方法：本校事務室で保管。希望があれば、随時閲覧可能。		
(備考)		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://hair-artist-academy.com/
--